



2024年5月13日

各位

会社名 株式会社ヒガシマル
代表者 代表取締役社長 東 勤
(コード番号 2058 福証)
問合せ先 常務取締役管理部部长 松久保 稔
(TEL 099-273-3859)

2024年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年11月13日に公表いたしました2024年3月期の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

2024年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,935	13	66	18	4.65
実績値(B)	13,010	△11	55	△104	△26.47
増減額(B-A)	75	△25	△10	△122	
増減率(%)	1	—	△17	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	11,724	△33	98	△75	△19.19

2024年3月期通期個別業績予想と実績値との差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,057	76	51	12.93
実績値(B)	8,375	0	△126	△32.02
増減額(B-A)	318	△75	△177	
増減率(%)	4	△100	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	7,026	67	43	10.96

2. 業績予想と実績値との差異の理由

通期連結業績につきましては、原材料費や資材費、エネルギー関連商材などの価格高騰によるコスト上昇が継続していることや、魚類養殖子会社で高水温期の魚病対策として実施した制限給餌により成長が遅れた影響で収益が悪化したことなどにより、営業利益は予想を下回る結果となりました。また、クルマエビ養殖子会社及び魚類養殖子会社における減損損失 17 百万円を計上したこと及び法人税等が前回予想よりも 95 百万円増加したことから、親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を下回る結果となりました。

通期個別業績につきましては、鮮魚販売子会社、クルマエビ養殖子会社及び魚類養殖子会社に対する貸倒引当金繰入額 3 億 87 百万円を営業外費用に計上したことで、経常利益及び当期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

以上